

# 20年目の葉山

村山市立葉山中学校  
学校だより  
第4号  
令和5年5月24日

## “愛されるバンド”であることを実感

校長 富塚 義幸

5月14日(日)、第20回葉山中学校吹奏楽部定期演奏会を村山市民会館で開催しました。生徒だけでなく、多くの保護者・地域の方に来場していただきました。吹奏楽部の先輩方も駆けつけてくださり、20回目の節目に心温まるメッセージを添えていただきました。私は、本校吹奏楽部が様々な方から支えられている“愛されるバンド”であることに感激しました。生徒会スローガン『新花～培った20年に新しい種を～』を具現化できました。20年培ってこられた先輩方のメッセージを紹介します。



### 松田奈緒美 さん（初代部長）『開校1年目の葉山中』

私が中学2年生の時、新葉山中の完成と共にこの葉山中吹奏楽部は誕生しました。新しい友達と新しい校舎、楽器はもちろんピカピカの新品で、私達にとってはもったいないほどでした。どう練習したらよいか分からず、当時も顧問をしてくださった伊藤礼子先生はじめ、北村山吹奏楽団の皆様、ご協力をいただいた方々には、本当にお世話になりました。生徒数が減少し、部活動の継続が困難になりつつある中で、葉山中吹奏楽部として20年という歴史を築けたことは、音楽が大好きな人がたくさんいたからだと思っています。これからも音楽が好きな心を大切に、素敵な音楽を創っていきましょう。

### 森村龍也 さん（7代目部長）『つながり・感謝』

実は、私が2年生の夏コンは、地区落ちしたんです。すごく悔しくて悔しくて、皆で涙を流したことを覚えています。その後、ものすごく練習しました。当時の後輩からは嫌われていたと思うくらい。そして、3年生の夏コンで県大会金賞をいただくことができました。先輩方の悔しさがあったから、私達は頑張ることができました。共に厳しい練習をした仲間や指導してくださった先生方、全ての方々に感謝しました。私は、その後、高校でも吹奏楽を続け、現在も北村山吹奏楽団で活動しています。吹奏楽と出会わせてくれた、葉山中吹奏楽部にも感謝しています。

### 外塚詩歩 さん・工藤真愛 さん（10代目部長）『10年目の葉山中』

ちょうど私達が吹奏楽部に入った当時は、大きな変化がありました。1年生の頃は小編成の部に出場しましたが、2年生になると人数の減少により小編成の部への出場となりました。大編成、小編成それぞれの楽しさや大変な部分を知れたのはとても貴重な経験だったと思います。少人数ということもあって、私

達が3年生の時には、ビッグバンド形式でジャズのステージを披露しました。顧問の先生2人がトロンボーンとユーフォを吹いたり、ゲストで美術の先生がギターで参加したりと、みんなで演奏した思い出があります。私達部員だけでなく、他の人も巻き込んで盛り上がった10年目の葉山中だったと思います。

#### 菊地さや さん（18代目部長）『コロナ禍での部活動』

吹奏楽部の思い出としては、1年生の時は定期演奏会でフリーンのパプリカのダンスやその他いろいろなダンスをして盛り上げました。2年生の時は、コロナの影響で定期演奏会をこのような形で開催することができず、アンサンブルコンテストもビデオ審査となりました。すべてにおいて制限されました。だからといって練習に手を抜かず、文化祭やちょっとした発表会に向けて基礎からしっかりと練習することができました。練習が大変な時もありましたが、毎日毎日の練習を乗り越えて、目標に向かって頑張りました。そして、3年生の時は、ようやく定期演奏会を開催することができました。1時間という短い演奏会ではありましたが、開催できたという喜びがとても大きかったです。

#### 細谷 柚 さん（19代目部長）『20年目の後輩に期待すること』

私達は、初の東北大会出場を目指して活動を行ってきました。たくさんの時間を練習につぎ込み、技術向上は図れたものの、結果は県大会銀賞で終わってしまいました。20年目のみんなも、一緒に悔しい思いをしました。その悔しさを活力に変えて、楽しさも忘れずに頑張ってもらいたいです。

## 5月のアルバム ～ 学校の主役は“生徒” ～

学級・生徒会・部活動…目一杯活動を楽しみました。生徒の活躍は、学校を活気づけ、より良い学校文化を創り上げています。学校の主役を特集します。



『生徒総会：どうすれば今より良くなるのか？真剣に考え、実行します。』↑



↑『吹奏楽部定期演奏会：音楽も…ダンスも…心遣いも…素晴らしい!』



『校内駅伝大会：暑さに負けない！青春の汗。』↑→